

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第5部門第1区分

【発行日】平成19年11月15日(2007.11.15)

【公開番号】特開2001-140601(P2001-140601A)

【公開日】平成13年5月22日(2001.5.22)

【出願番号】特願2000-297785(P2000-297785)

【国際特許分類】

F 01D 5/18 (2006.01)

F 01D 9/02 (2006.01)

【F I】

F 01D 5/18

F 01D 9/02 102

【手続補正書】

【提出日】平成19年10月1日(2007.10.1)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

冷却し得るガスタービンエンジン翼形部であって、

該翼形部の前縁と後縁との間に翼弦方向に延在する圧力側と吸引側を有する翼形部外壁と、

翼幅リブと前記外壁との間に形成されそして前記前縁と前記後縁の少なくとも一つに沿って延在する冷却プレナムと、

前記翼幅リブによって部分的に境界をつけられている該翼形部内の冷却空気流路と、

冷却空気を前記流路から前記前縁と前記後縁の前記一つに沿う前記翼形部外壁の内面に衝突させるための前記翼幅リブ内のスロット付き冷却空気衝突手段とを含むガスタービンエンジン翼形部。

【請求項2】 前記スロット付き冷却空気衝突手段は前記翼幅リブのほとんど全長に沿って延在する单一の長手方向延在スロットからなる、請求項1記載の翼形部。

【請求項3】 前記長手方向延在スロットは長手方向に相隔たる丸形端部を有する、請求項2記載の翼形部。

【請求項4】 前記スロット付き冷却空気衝突手段は前記翼幅リブのほとんど全長に沿って延在する2つ以上の近接して相隔たる長手方向延在スロットからなる、請求項1記載の翼形部。

【請求項5】

冷却し得るガスタービンエンジン翼形部であって、

該翼形部の前縁と後縁との間に翼弦方向に延在する圧力側と吸引側を有する翼形部外壁と、

最前翼幅リブと該翼形部の前記前縁に沿う前記外壁との間に形成された前縁冷却プレナムと、

前記最前リブによって部分的に境界をつけられている該翼形部内の冷却空気流路と、

冷却空気を前記流路から該翼形部の前記前縁に沿う前記翼形部外壁の内面に衝突させるための前記翼幅リブ内のスロット付き冷却空気衝突手段とを含むガスタービンエンジン翼形部。

【請求項6】 前記スロット付き冷却空気衝突手段は前記最前リブのほとんど全長に沿っ

て延在する单一の長手方向延在スロットからなる、請求項5記載の翼形部。

【請求項7】前記長手方向延在スロットは長手方向に相隔たる丸形端部を有する、請求項6記載の翼形部。

【請求項8】

ガスタービンエンジンの冷却し得るタービン動翼であって、

該動翼の翼台から翼形部外側先端まで長手方向外方に延在する冷却し得る翼形部と、前記翼台から長手方向内方に延在する根元とからなり、

前記翼形部は、

前記翼形部の前縁と後縁との間に翼弦方向に延在する圧力側と吸引側を有する翼形部外壁と、

最前翼幅リブと前記翼形部の前記前縁に沿う前記外壁との間に形成された前縁冷却プレナムと、

前記最前翼幅リブによって部分的に境界をつけられている前記翼形部内の冷却空気流路と、

冷却空気を前記流路から前記翼形部の前記前縁に沿う前記翼形部外壁の前方内面に衝突させるための前記最前翼幅リブ内のスロット付き冷却空気衝突手段とを含む、タービン動翼。

【請求項9】前記スロット付き冷却空気衝突手段は前記最前翼幅リブのほとんど全長に沿って延在する单一の長手方向延在スロットからなる、請求項8記載の動翼。

【請求項10】前記長手方向延在スロットは長手方向に相隔たる丸形端部を有する、請求項9記載の動翼。